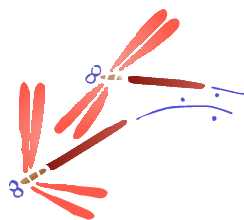




内町小学校だより

第42号 令和7年9月16日

2学期が始まり半月ほどが過ぎました。早朝の風には涼しさを感じることもあり、登校時に子ども達を迎える正門前の木陰が広くなったように思います。また、いつの間にかセミの鳴き声がしなくなり、替わりに空にはトンボ、草むらにはバッタやコオロギなどの姿が見られるようになっていきます。季節は少しずつ前へ進んでいるようです。



お陰様で夏休み期間中に児童の大きな事故や怪我もなく、始業式には元気な顔を見ることができました。保護者の皆様や地域の方々にはお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、夏休み明けの一週目は月曜日から始まったということもあり、児童にとっては気持ちも体もしんどさを抱えたスタートであったように見受けました。また、9月になっても熱中症警戒アラートの発令される日はあり、業間や昼間みの外遊びが短縮や中止になるほどでした。2学期は、夏の終わりにから秋冬にまたがる一番長い期間で、遠足や修学旅行などの大きな行事も予定されています。週末や祝日を活用しながら気持ちも体も整えられればと思います。

〔地震・津波を想定した避難訓練〕

9月9日（火）に、地震と大津波を想定した避難訓練を行いました。まず地震の発生を受けて、全校放送で身を守る行動を呼びかけます。次に地震の収まりを受けて防災ずきん（座布団）や教科書などで頭を覆い、「お・は・し・も」を守りながら1次避難として運動場へ集まります。さらに大津波警報の発令で高所への避難が必要になったため、2次避難として全校児童が校舎3階の図書室前廊下へ集合します。今回の避難訓練は、このような場面を想定して行いました。



なお、同様の災害が発生して校舎へ2次避難した際には、3階の普通教室や特別教室が避難教室として各学年に割り当てられます。児童のため本校独自に用意している保存水や保存食も同じ階に確保しています。大津波警報が解除され、保護者のお迎えが可能になるまで、みんなで安全に気をつけながら過ごすことになります。様々に想定をして準備はしますが、大きな災害が来ないことを強く願います。

〔環境省熱中症予防情報サイト〕

内町小学校では、熱中症への対策を考える際に、「環境省熱中症予防情報サイト」に掲載されている「暑さ指数（WBGT）の実況と予測」を活用しています。熱中症警戒アラートの発令の有無と、暑さ指数（WBGT）として何種類かある中の「子供・車いす（地表面に近い高さ50cmを想定）」を参考に、外遊びや体育学習の取り組み方を判断して、業間や昼休みの前に校内放送でお知らせしています。暑さはもう少しだけ続くようです。引き続き、暑さ対策として帽子をかぶることや水分をとることを伝えていきたいと思っています。

学校HPにも内町小学校だより(カラー写真)を掲載しています。

内町小学校HPアドレス

https://school.e-tokushima.or.jp/es_uchimachi

QRコード→



（文責 松永健治）